

「寅さん」シリーズ（2）

かなり前に写真の「寅さん絵入りはがきセット」を買って、大切に書棚に飾っていた。「男はつらいよ」の第1作から48作までの映画ポスターはがきで、48枚セットで3500円、郵便局発売である。はがきとして使えるが、「宝物」のように持っていた。これから「寅さん」シリーズのレポートを書く際に、このポスターを写真に撮って使うことにしよう。

シリーズ全作品解説「トラの巻」という小さな冊子が同封されていた。これもレポートを書くうえで便利であり参考にしたい。小冊子の最初に、例の有名な台詞が載せてある。



「私、生まれも育ちも葛飾柴又です
帝釈天でうぶ湯をつかい
性は車、名は寅次郎
人呼んでフーテンの寅と発します」

1979年に短大に就職してから、飲み会の席などで、この台詞から始まり、寅さんの曲をよく歌ったものだ。

「俺がいたんじゃ お嫁にゃ行けぬ わかちやいるんだ 妹よ
いつかおまえの よろこぶような 偉い兄貴に なりたくて
奮闘努力の 甲斐もなく
今日も涙の
今日も涙の 日が落ちる
日が落ちる 」

その頃は学生にも寅さんは知られており、拍手をもらったものだ。宴会の「寅さん」として？活躍していた頃が懐かしい。1996年8月4日、寅さんを演じる渥美清さんが転移性肺がんのため東京・順天堂大学附属病院で亡くなった。家族だけで密葬、荼毘に付した後の7日に公表され、驚きとショックをうけた。

前回のレポートでも記したように、映画「男はつらいよ」は1969年8月に第1作が公開され、1995年12月の第48作で終わりとなる。20数年間に48作というのは、年2ないし3作が公開されたからだ。「データブック」によると、年3回の公開は1970年と71年の2回である。「寅さん絵入りはがき」から、映画のポスターを振り返ると、わが青春から短大教員までの頃が思い出される。

(2014年9月16日)